

「退院後の地域での生活支援」

～チームの一員として、その人の生活を支えるために～

今年度2回目となりました本研修会では、

転倒・骨折等で入退院も繰り返しながら様々なサービスを利用していた在宅での生活。その後老健入所となり、入所前からの施設＝居宅との連携、入所後の老健内での多職種連携、在宅復帰検討時からの施設＝家族＝居宅との連携、老健退所における施設＝居宅＝居宅サービス＝医療機関の連携など、多くの連携のもと元気に在宅復帰し、その後も居宅サービスを使いながらその人らしく生活している事例をご紹介します。

チームの一員として、その人の生活を支えるためのヒントを見つけるため、皆さまで語り合しましょう！

日時：平成29年 11月 22日（水）

18時45分～20時45分

場所：出羽庄内国際村 ホール

内容：事例発表&グループワーク

テーマ「退院後の地域での生活支援」

～チームの一員として、その人の生活を支えるために～

<ファシリテーター・アドバイザー> 山形県立保健医療大学 教授 後藤 順子 氏

<事例報告> ①「連携から生まれた在宅復帰」

医療法人社団みつわ会 サテライト老健のぞみ 介護部長 上野 栄市氏

②「本人・家族の意向に添った介護支援」(仮)

社会福祉法人朝日ぶなの木会

居宅介護支援センターであい 介護支援専門員 上野 洋子 氏

③「生活意欲を引き出す自立支援に向けて」(仮)

社会福祉法人朝日ぶなの木会

短期入所生活介護事業所 ぶなの杜 係長 難波 涼子 氏

【主催】 鶴岡市 鶴岡市介護保険事業者連絡協議会居宅支援事業者部会

鶴岡市地域包括支援センター連絡会

鶴岡地区医師会地域医療連携室ほたる

申し込みは別紙申込書を用いて11月2日（木）まで
FAXにてお願いいたします。



鶴岡地区医師会地域医療連携室ほたる 行き

FAX 0235-29-3022

11月2日(木)

までお願いします。(締切厳守)

平成29年度 第2回 医療と介護の連携研修会の出席 申込書

施設名 _____

No.	参加者氏名	職 種 (現在従事している職種を お書きください)	今回初めて出席 される方は○
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			